



令和7年度 学校だより

天王丘



令和7年9月3日(水)

第11号

観音寺市立栞田小学校
発行

長
子
配
付

自分の命を守る力を育む

～防災研修と避難訓練から～

9月1日は防災の日。栞田小学校では、子どもたちと教職員の命を守るために、2日と3日、防災に関わる学びを行いました。

2日(火)の午後には、観音寺市危機管理課から防災専門官の土井明様を講師にお迎えし、教職員研修を実施しました。研修では、栞田町の地震被害想定や、土井様が実際に地域を歩かれて撮影した危険箇所の写真をもとに、具体的なお話をいただきました。また、栞田小学校区のハザードマップ(震度、液状化、浸水、津波等)を活用し、南海トラフ地震規模の地震が起きたとき、地域がどうなるのかについて詳しく学びました。



その後、学年団ごとに「避難訓練の後で子どもたちにどのような話をするのか」を話し合い、全体で共有しました。特に、登下校中に地震が起きたときどう行動するか。これは学校だけでは一律に決められず、地区や家庭ごとに考える必要があることを指導いただきました。学校に向かうのか、家に戻るのか、一時的に広い場所へ避難するのか。地域の特性をふまえてどのように行動するべきか、お家でも話し合っていたらと思います。

教職員もまた、防災の視点で学校を見直すことの重要性を再確認しました。高い場所に危険なものが置かれていないか、廊下をふさいでしまうものがないか。日常の安全点検が、子どもたちの命を守る基本であることを改めて確認しました。

そして3日の避難訓練。地震発生を想定し、まずは全校生が3階に避難しました。子どもたちは落ち着いて静かに行動し、整然と集まることができました。これは、子どもたちが日頃から「命を守る行動」を意識していることを示しています。



避難の後には、各学級で危険箇所の写真をもとに指導を行いました。栞田町の具体的な場所を示しながら、「ここはどんな危険があるのか」「登下校のとき、どのようにすれば自分の命を守れるのか」を考えさせました。子どもたちは真剣に意見を出し合い、防災を自分のこととして捉えていました。

私たちは、日頃から「自分の命を自分で守るために大切なこと」として、「聞く」「止まる」「整える」を合言葉にしています。今回の研修と訓練を通じて、教職員も子どもたちも、一つひとつが命を守る力につながることを改めて確認しました。

どうかご家庭でも、お子さんから今回学んだことを聞いていただき、防災について話し合う時間を持ってください。そして、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの命を守る力を育んでいきたいと思っています。

